

# 青少年育成・リーダー資質向上委員会事業計画（案）

青少年育成・リーダー資質向上委員会 委員長 松浦 大輔

1 我々が住む鳥取県中部は、少子化により子ども同士の交流機会の減少や過保護化により、  
2 子どもたちの自主性・社会性が育まれにくくなるなど、健やかな成長への影響が懸念され  
3 ています。そうした時代の中で我々ができることは、子どもたちが切磋琢磨し互いに意志  
4 や思考を伝える機会をつくること、また色々な人とふれあう場面をつくり、将来、社会の  
5 中で人と対話することを重んじる青年へと成長させることです。その為には我々も地域を  
6 先導していくリーダーとして、成長していく事が必要不可欠です。

7 まずは研修事業として、各会員の運動意識を向上させる為に倉吉青年会議所運動の歴史  
8 を振り返ると共に、事業を構築して行く為の基礎と手法を学びます。そして事業構築シ  
9 ュレーションを行い、事業に対する創造意欲を高め、会員同士で意見交換をし、資質の向  
10 上を図ります。さらに全体を通してプレゼンテーションを行い、これから活動していく上  
11 での目的意識の共有を図ります。また青少年の健全育成として行政・学校・地域と協働し、  
12 子どもたちが地域の方々とはふれあいながら、中部の街並を歩き、その地域の魅力を見出す  
13 事業をします。様々な年代の方と交流を行うことで子どもたちの社会性を育むと共に、中  
14 部の人々・街並の魅力を感じることで、故郷を思いやれる青年へと成長する為の一助とな  
15 ります。そして事業に参画する私達も、子どもたちと時間を過ごす中で自己の姿を顧み、  
16 成長する機会とします。さらに中部に我々の運動を発信し会員拡大のきっかけとします。

17 青少年事業を通じ、子どもたちの自主性・コミュニケーション能力を育むことで将来、  
18 社会の中で自分の意思を持ちながらも相手のことを尊重できる青年へと成長します。そし  
19 てその中で自分の生まれた街を愛し、誇りを持ち、将来、地域の為を思い行動し、未来の  
20 この街を創造していく人財となります。また各会員が事業構築の基礎を学び、シミュレー  
21 ションを行う事で創造意欲・目的意識が向上します。そして将来この街に対し創造性溢れ  
22 る事業を展開・運動していくことができます。

23

## 24 <事業計画>

- 25 1. 青少年育成に関する事業の実施
- 26 2. 会員全体の目的意識を高める為の基盤となる研修の企画と実施
- 27 3. 3月・5月・6月・9月・12月定例会の運営（5月・12月は3委員会合同）